

桃谷高校 通信制の課程
昼間部 数学B
レポートNo.3 後編

Σ の計算(シグマ)

この回のポイント

- Σ の使い方を身につけよう
- 数列の和を Σ を使って求めよう

等比数列の和

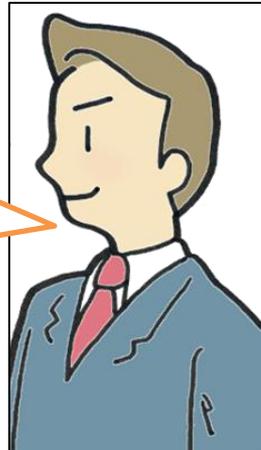
等比数列 1, 3, 9, 27, 81, 243 の初項から第6項までの和Sを考えよう

「和」とは、足し算のことである。

$$S = 1 + 3 + 9 + 27 + 81 + 243$$

第6項までの和ならば、足し算すればいいが...

もし「第500項」までの和を求めるならば、足し算なんてしてられないです!!



等比数列の和

等比数列 1, 3, 9, 27, 81, 243 の初項から第6項までの和Sを考えよう

$$3S = 3 + 9 + 27 + 81 + 243 + 729$$

$$S = 1 + 3 + 9 + 27 + 81 + 243$$

この上下の式を引き算すると、

$$2S = -1 + 729$$

$$\text{つまり, } S = 728 \div 2 = 364$$

和の公式ができあがりつつあります!!

「3S」を計算しているのは**公比が3**だからです!!

3Sを用意すると、上下の式で同じ数が出てきて計算しやすいですね!!



等比数列の和

初項 a , 公比 r の等比数列の和は

$$S = \frac{a(r^n - 1)}{r - 1} \quad (r \neq 1 \text{ のとき})$$

または

$$S = \frac{a(1 - r^n)}{1 - r} \quad (r \neq 1 \text{ のとき})$$

また,

$$S = na \quad (r = 1 \text{ のとき})$$

まずは, 公式を使いこなせるようになろう!!
項数が決まっている場合は, n に項数を入れよう!!



数列の和

1範囲の最後や前回に、等差数列の和、等比数列の和を学びました。この数列の和を、 Σ という記号を使って表すことができます。読み方は「シグマ」です。

数列 a_n の初項から第 n 項までの和は

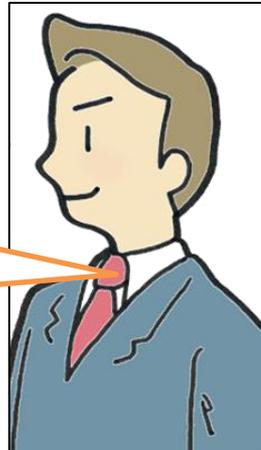
$a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_n$ である。これを Σ を使って表すと、

$$\sum_{k=1}^n a_k \quad \text{となる。}$$

初項から第 n 項までの和

$$\sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_n$$

慣れない記号が出てきていますが、今後はこの Σ を使った式が出てきます!!



数列の和

逆に、 Σ という記号を使わずに表す場合は

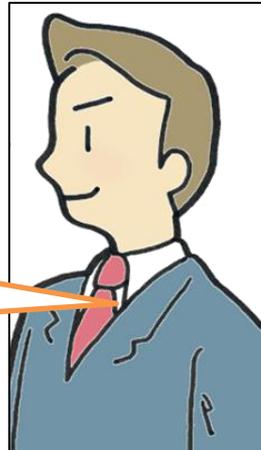
$$\sum_{k=1}^3 a_k = a_1 + a_2 + a_3 \quad \text{となる。}$$

ポイントはシグマの記号の上が「 n 」ではなく「3」となっている。これは、第3項目までの和を表している。記号の下の「 $k=1$ 」つまり、初項からであることは当然。計算は、 k の部分に1, 2, 3を入れていく。

初項から第 n 項までの和

$$\sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_n$$

様々な Σ の計算式を見て、慣れていきましょう!!



数列の和

数列 $3, 3^2, 3^3, 3^4, 3^5$ は、 $a_n = 3^n$ と一般項が表せられる。

この数列の和は

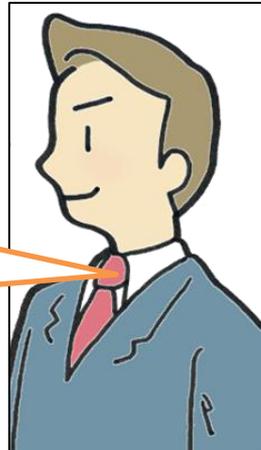
$$3 + 3^2 + 3^3 + 3^4 + 3^5 = \sum_{k=1}^5 3^k \text{ となる。}$$

ポイントはシグマの記号の右が、一般項の「 3^n 」ではなく「 3^k 」に代わっている。一般的に、 Σ を用いる場合は、 n ではなく k を用いて式を表し、 k の部分に1, 2, 3...を入れていく。

初項から第 n 項までの和

$$\sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_n$$

様々な Σ の計算式を見て、慣れていきましょう!!



Σの計算

これまでのことを踏まえて考えると・・・

$$\sum_{k=1}^n k = 1 + 2 + 3 \cdots + n \quad \text{ということがわかる。}$$

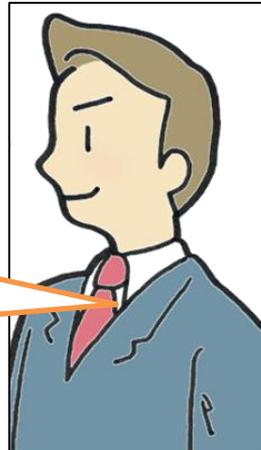
ここで、等差数列の和の公式を思い出すと、

$$1 + 2 + 3 \cdots + n = \frac{1}{2}n(1 + n) \quad \text{でした。つまり・・・}$$

Σの公式

$$\sum_{k=1}^n k = \frac{1}{2}n(1 + n)$$

様々なΣの計算式を見て、慣れていきましょう!!



Σの計算

さらに1つ...

$$\sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) \quad \text{という式も覚えておこう。}$$

注目することは、Σの右の式が、 k^2 となっているところ。
先ほどまでは、 k でした。

$$\sum_{k=1}^n k^2 = 1^2 + 2^2 + 3^2 + \cdots + k^2$$

のことです

様々なΣの計算式を見て、慣れていきましょう!!

